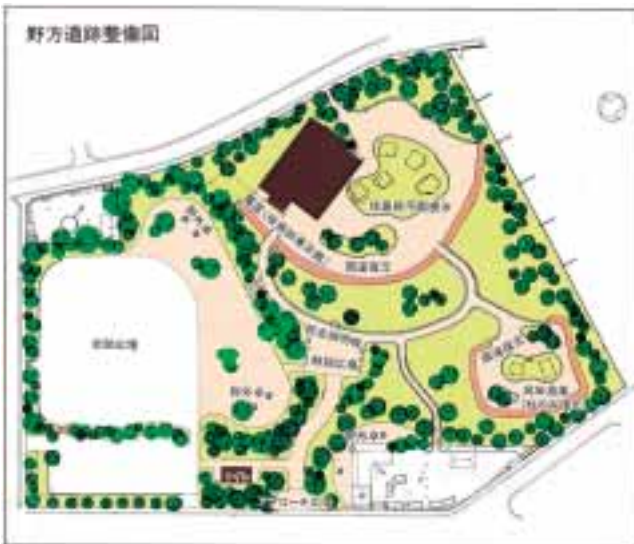


遺跡の整備

遺跡の整備は昭和61年度から平成3年度までの6ヶ年で行いました。弥生時代と古墳時代の住居跡を発掘されたままの状態のまま見学できる住居跡展示館では、映像やパネルで遺跡の概要や特徴を説明しています。その他環濠跡や史跡広場など、市民の皆さんに親しまれ、遺跡をわかりやすく学習できる史跡公園として整備しました。

また、植栽についても弥生時代に植生していたヤマザクラやシイの木を中心としたものとなっています。

住居跡展示館 鉄骨造平家建 延床面積480㎡



ご案内

所在地 福岡市西区野方5丁目11-25
面積 21,166㎡
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
閉館日 12月29日~1月3日
入場料 無料
連絡先 福岡市教育委員会文化財管理課
☎ 092-711-4666(野方遺跡812-3710)
交通機関 西鉄バス
天神ソラリアステージ前2B乗り場
504・506系統 野方行「野方遺跡」下車



史跡 野方遺跡



福岡市教育委員会

遺跡の発見

野方遺跡は、早良平野に面した広石峠の出入口に位置し、標高17~20mの扇状地上の、南北600m、東西200mの南北に細長い台地にあります。この近くには早良王墓としてよく知られている吉武高木・大石遺跡や丸隈山古墳、今宿大塚古墳など多くの遺跡があります。

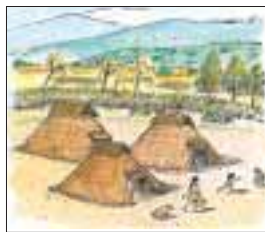
遺跡は昭和48年の春に住宅地造成工事中に発見されました。発掘調査の結果、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての遺構が確認され、遺構の集中している中央部の21,166㎡について昭和50年6月に国史跡の指定を受け、永く後世の人々に伝えられることになりました。



発掘作業中の野方遺跡

遺跡の概要

野方遺跡は、弥生時代後期（今から約1,800年前）から古墳時代前期（今から約1,700年前）の人たちが生活を営んだ場所です。この遺跡の弥生時代には、大小二つの環濠があり、大きい環濠内には住居を建て、小さい環濠内には高床倉庫を建て米などを貯蔵していました。また、環濠の外にはお墓を造っています。その人達の生活を示すものとして環濠の中から土器、石器、鉄器のほかにサメ、タイ、スズキなどの



竪穴住居復元図

魚類の骨や貝類、鳥類、獣骨なども出土しています。

古墳時代の人達も住居を建て、お墓を造って生活していますが、住居や高床倉庫などの周囲には濠は巡らせていません。しかし住居跡は100軒以上発見されていますから、かなり大きな集落であったと考えられます。遺跡の北西部にはお墓が集中して発見され、住居とお墓が区別されていることがわかります。



高床倉庫復元図

遺跡の特徴

野方遺跡は、弥生時代後期から古墳時代前期の時期の集落で、弥生時代には大小二つの環濠に住居と高床倉庫を造り、生活をしていました。大きな環濠は直径約100mで、東は十郎川に流れ込むように造られ、濠は空濠であったことがわかりました。濠の内部には住居跡が7軒発見され、遺跡の東側にも3~5軒の住居があったと考えられます。

住居跡からはたくさんの土器、石器、鉄器が発見されています。竪穴住居跡は非常に残りも良く、柱穴は2本と4本の2種類があります。もう一つの環濠の大きさは一辺30mのほぼ正方形をしています。中には食料を貯蔵する高床倉庫が2棟建っていました。

古墳時代には、弥生時代の環濠は埋まってしまい、その上に住居を造っています。全体で100軒以上発見されていますが、一世代に（住居が約20年間もったと仮定して）2回から3回の建てかえを行うとすると、一時期に約30軒から40軒の家が建っていたこととなります。



弥生時代の住居跡と古墳時代の住居跡

お墓は北西部から発見されていますが、箱式石棺墓（石を長方形に組みあわせその中に遺体を埋葬する）の中には、中国製の鏡、勾玉管玉、刀子（小刀）などの貴重な遺物を副葬したお墓もあります。

遺跡の出土品

野方遺跡からはたくさんの出土品があります。これらから昔の人達の生活を知ることができます。弥生時代の土器と古墳時代の土器とを比較してみましょう。

弥生時代の土器は底が平坦ですからそのまま置くことができますが、古墳時代の土器は底が丸いので台の上に置かないと倒れてしまいます。また、文様のつけかたや、焼く時の温度の違いなどもあげられます。

弥生時代の人達は魚をとるために石で錘りを造り、魚釣をしてタイやスズキなどを獲っていました。その他、石鏃、石庖丁、石斧などの石の道具を使って稲作や漁、狩猟、木の伐採なども行っていました。

また、田や畑を耕す鉄鋤先（木を平坦に削り木鋤を造りその先端に取付ける）や鉄鎌、鉄斧、鉄鏃などの鉄の道具も使っていました。

お墓からは副葬品が出土していますが、その中には中国で造られた鏡（舶載鏡）もあります。お墓に副葬品を入れた例は少なく、身分の高い人のお墓と考えられます。



弥生時代後期の土器



古墳時代の土器



鉄器（鉄鏃、鋤、鎌）と中国製の銅鏡